



『しだれ桜』川崙 照代 画

## 理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

## 運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にシなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。



# 新年のごあいさつ

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之



新年明けましておめでとう  
ございます。平素より当法人  
に対しましてご支援・ご高配  
をいただき誠にありがとうございます。  
昨年（2023年）は日本でラグビーの  
ワールドカップが開催されま  
した。流行語大賞では日本チー  
ムの合言葉「One Team」が  
選ばれ、日本の大活躍ととも  
に大変盛り上がったことが記  
憶に新しいかと思えます。大  
分でも準々決勝を含む5試合  
が開催され、好ゲームが展開  
されました。ここ中津でも海  
外チームのサポーターが滞在  
し、私達が食事をしていたと  
ころにたまたま居合わせた  
オーストラリアのサポーター  
一家の方々と意気投合し、楽  
しい夜を過ごすというハプニ



野原 裕 獨協医科大学名誉教授を囲んで  
(中津にてオーストラリアのラグビーサポーターと共に)

ングもありました。  
同じく10月には国際学会（ア  
ジア太平洋潜水・高気圧環境  
医学会）を中津で開催し、国  
内はもとより世界各国から多  
くの方々にお集まりいただき  
ました。特にアジア近隣の国々  
とは国家間レベルでは様々な  
問題が起きていますが、高気  
圧医学における最新の知見に  
ついて様々な情報交換を行う  
とともに親交を深めることが  
できました。本会にご参加、  
並びにご協力いただきました

多くの皆様に、この場を借り  
て厚く御礼を申し上げますと  
思います。  
また、本年は九州高気圧環境  
医学会の会長を拝命し、7月4  
日に中津において学会を開催  
させていただきました運びとなりま  
した。多くの関係者の皆様のご  
参加をお待ち申し上げます。  
春には、私共の長年の悲願  
でありました回復期リハビリ  
病棟を開設させていただく運  
びとなりました。今まで中津  
市内においては回復期病棟が  
全くなく、近隣でも十  
分な数の回復期病床が  
ありませんでした。そ  
のため当院での急性期  
の治療が終了すると、  
リハビリ目的の入院治  
療を必要とされる患者  
さんは、リハビリ可能  
な介護施設に入所して  
いただくか、遠方の回  
復期病院に転院してい  
ただくことが多く、ま  
たその入所・転院調整  
に難渋することが多々  
ありました。今後は地  
域の皆様、住み慣れ

た地元で在宅復帰に向けての  
リハビリを十分に行う環境を  
提供させていただくことが可  
能になると思えます。  
本年も職員一同、「One  
Team」となって地域に貢献し  
ていきたいと思っております。  
どうぞよろしくお願い申し上  
げます。



回復期病棟（右側）



# アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会を主催

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人



アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会参加者の集合写真  
(グランプラザ中津ホテルにて)

2019年10月25日、26日に渡って、第4回アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会を中津にて開催したので報告する。この学会はもともと中国から発足し、2年毎にアジア各地で開催されている学会である。この地域における潜水・高気圧医学の研究を発表し、お互いに切磋琢磨して医療や研究水準の向上を目指すために始まった。中国高気圧環境医学会会員数35,000人、高気圧酸素治療装置5,

500基を持つ創設者の高春錦(ガオウ・チュンジン)会長も出席された。出席者はいずれも世界各地から来日されたこの医学関連学会の重鎮の方々で、今回は私が主催者という事もあり中国のみならず、台湾、韓国、インド、米国、スウェーデン、アルゼンチンからの代表が中津で一堂に会した事は大変光栄な事であり感謝に堪えない。また、アメリカの国際潜水・高気圧環境医学会理事長・ジョン・ピーター先生も出席され、約90名の出席者の中から発表が行われた。私は会長講演として『整形外科領域感染症に対する高気圧酸素治療』という事で、1969年以來行ってきた我々の治療と持続洗浄療法、ナノバブル水の応用などについてお話をした。

第1日目は私達と20年間共同で、羊500頭を使い潜水病による減圧性骨壊死の発生と原因や予防法についての研究を続けていくウイスコンシン大学のソバキン博士の発表が行われ、更に当院の川島真人院長によって『検診を行ったダイバーに減圧性骨壊死がどのくらい発生しているか』という統計学的な分析発表が行われた。また日本サルヴェージ株式会社 橋本昭夫理学博士からは『高深度潜函作業においてヘリウムガス応用の方法』という最先端の潜函作業についての発表もあった。

翌日の招請講演は、日本高気圧環境・潜水医学会代表理事の柳下和慶准教授(東京医科歯科大学)から『スポーツ医学における高気圧酸素治療』が発表された。またヨーロッパ元会長フォルケ・リンド教授による『脳神経外科領域感染症の高気圧酸素』の講演があった。その他にランチョンセミナーとして、国際潜水・高気圧環境医学会理事長ジョン・ピーター先生による『高気圧酸素治療施設の公認... パフォーマンスを向上し続けるためのキーポイント』という講演や、インド潜水医学学会会長 PROF.(DOR.)TARUN KUMAR SAHNI先生により『インド tertainment ケアホスピタルにおける高気圧酸素治療—興味深い症例』の発表が行われた。そして



アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会参加者を川島会長が招待しての宴会(筑紫亭にて)





アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会の参加者に川島会長が中津市中を案内(中津城にて)



アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会の参加者と別府ホテル風月にて記念撮影

『深海への挑戦…有人潜水艇のデザイン』の発表があった。また、

『酸素治療のプレコ  
ンディショニング』  
の講演があった。次  
に韓国のサンチェン  
ポールソール病院の  
ハン・チャンセブ先  
生による『既存治療  
に抵抗性の壊死性筋  
膜炎に対する高気圧  
酸素治療と韓国にお  
ける高気圧酸素治療  
の発展』の講演があっ  
た。その他、多数の  
演題の一般講演が行

われた。

開催前日は会長招請のレセプ  
ションが中津の歴史ある筑紫亭  
で行われ、江戸時代から伝わる  
人形浄瑠璃や中島克己先生によ  
る横笛の演奏を楽しんでもらっ  
た。このような伝統的な音楽や  
芸能を披露する事は国際学会で  
は大事な事であり、皆さんは大  
変喜ばれ感動していた様子だっ  
た。

初日の学会終了後は、グラン  
プラザ中津ホテルでケーナやお  
神楽の演奏が行われ大変好評  
だった。翌日は全員で八面山麓  
の金色温泉に入り、和やかな裸

のお付き合いができた。温泉浴  
の後はレセプションが行われ、  
前野良沢が愛好した一節截とい  
う笛の演奏を行った。3日目は  
大分県立歴史博物館で神仏習合  
について学び、宇佐神宮に参拝  
し、更に別府の地獄めぐりや地  
獄蒸し(江戸時代から続く伝統  
料理)と別府温泉も堪能した。  
一部の残った人達は深耶馬溪の  
一目八景の紅葉、本耶馬溪の断  
崖絶壁に張り付くように建立さ  
れた羅漢寺の絶景や、300年  
以上も前の圧巻の五百羅漢を目  
を見張るなど、感動を胸に各地  
に帰国していった。

日本高気圧環境・潜水医学会の  
理事である和田考次郎防衛医科  
大学校教授により『表層性側頭  
動脈を使用した頭蓋内頸動脈再  
建の術後の創部治癒遅延に対す  
る高気圧酸素治療の効果』や、  
韓国高気圧環境医学会の代表を  
務めているヒュン・キム教授に  
よる『韓国における高気圧酸素  
治療の現状 一酸化炭素中毒後  
の毒物動物と臨床病状』につい  
ての発表があった。更に上海交  
通大学のルー・シー先生による  
『深海への挑戦…有人潜水艇の  
デザイン』の発表があった。また、

アルゼンチンの高気圧医学会  
長ジョージ・ピサロ先生により  
『アルゼンチンにおける高気圧  
酸素治療の現状』が紹介され、  
防衛医科大学校の四ノ宮成祥教  
授によって『深度潜水における  
実験中における高圧ストレスの  
分子メカニズム』の発表もあっ  
た。

2日目の特別講演としては、  
元JAXA筑波宇宙センターの  
嶋田和人先生による『月と火星  
の宇宙医学 骨粗鬆症はどうか  
る?』という講演があり大きな  
感銘を受けた。国際的潜水シス  
テムのベータ・デノーブル副理

事長からは『ア  
ジアにおける潜  
水障害のマネジ  
メント 太平洋  
地域DANメ  
ディカルサービ  
スセンターを通  
じて』の講演が  
行われた。更に  
台湾の会長であ  
るProf. ALANN  
CHINIU (牛柯  
琪教授)によつ  
て『熱ショック  
タンパク質の過剰発現による肝  
虚血・再灌流障害に対する高気



アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会の参加者と別府地獄めぐりを観光



アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会の参加者と宇佐市の大分県立歴史博物館を見学



Dr.コラム



# 春はセンバツから

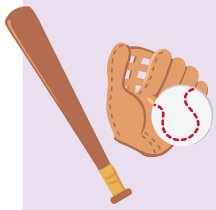
第二診療部長 古江 幸博

このラ・サント新春号がお手元に届く頃には、もう選抜高校野球出場校は発表されているでしょう。大分県勢はどうだったでしょうか。昨年の明豊高校と大分高校に続き、今年も大分県勢は明豊高校と大分商業高校の2校が選抜出場を有力視されています。昨秋の九州大会はこの県勢2校の決勝対決となり、優勝した明豊高校は神宮大会で日本一を狙いましたが、関東の健大高崎高校に惜敗しました。一時期の低迷から脱却し、津久見、大商、林工、柳ヶ浦が甲子園を沸かせた強い大分が戻って来ました。3年前から県高野連は春に4チームを遠征に出すなど強化策を講じており、佐伯市

は毎年招待試合を組んでいます。5月連休中には宇佐、別府、竹田を中心にベースボールフェスタが生まれ、各地から集結する強豪校の胸を借りることが出来ます。県出身のプロ野球選手の活躍も大いに刺激になっていくでしょう。そして何より、日本一を狙う程に強くなった明豊高校の存在が他校の牽引力になっているのです。

さあ、センバツが楽しみです。大分県勢の活躍を心待ちにしています。センバツが来れば春が来て、すぐに夏が来ます。

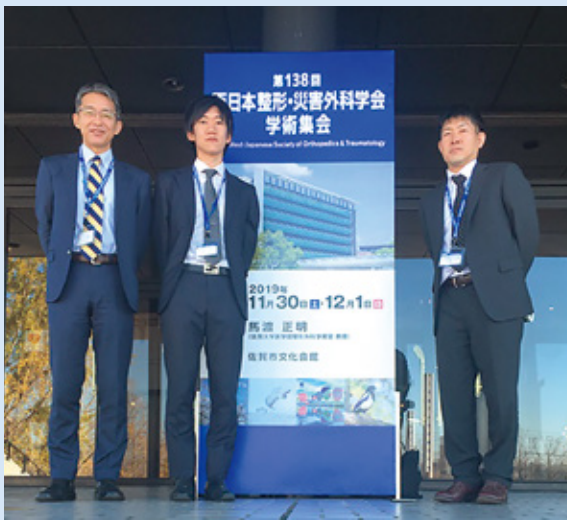
頑張れ！大分県高校球児達！



## 第138回

# 西日本整形・災害外科学会 学術集会

医師 藤池 彰



2019年11月30日、12月1日に佐賀にて開催された第138回西日本整形・災害外科学会学術集会に参加をしました。前日に特急で中津から佐賀まで向かい、その夜は古江先生と後藤先生に壮行会をしていただきました。幸い、発表は11月30日の朝であったため、発表前の緊張する時間は短く済みました。発表内容は珍しい症例であったため、いくつか質問をいただきました。学会の際の質疑応答は緊張しますが、興味を持っていただいている証拠と想うと嬉しく思います。

古江先生の発表も同日の昼に終わり、いつも忘れがちな学会ポスターとの写真を撮り、夜は反省会

となりました。翌日の発表者はいないため、前夜よりも存分に食事とお酒を楽しみ、思い出深い夜となりました。12月1日も学会に参加し、他病院の様々な発表を見る事が出来ました。大変密度の濃い2日間であったため、帰りの列車は少し寂しさを覚えました。学会は当院での経験を報告し、他病院の経験を学べる大変良い機会と改めて感じることができました。次回の開催まで英気を養い、日々の診療を行いたいと思います。





# 全日本病院学会の発表を終えて

4階病棟 看護師 永松 由絵

2019年9月28日・29日、愛知県で行われた全日本病院学会では初めて発表をさせて頂きました。学会では他病院の取り組みを実際に聞くことができ、自分の学びとなりました。

当院看護部には記録委員会活動があり、その中で「記録レター」の発行を通して、記録の質向上に向けての取り組みを学会発表のテーマとしました。記録委員会を中心に看護記録の充実と質向上を目的に記録監査を実施しています。記録監査では、個別性の



ある看護計画の立案、看護計画と連動した記録記載の質的評価に重点を置き、記録の充実が図れているかが課題となります。



そのため記録委員が分かりやすいように「記録レター」としてスタッフに毎月、発行しました。その中で、記録委員各人が記録の知識不足を感じ、研修や参

# 九州理療法士学術大会での発表を終えて

病院リハビリテーション部 理学療法士 尾道 健太郎

2019年10月12日(土)〜13日(日)に鹿児島県のかごしま県民交流センターで行われた「九州理療法士学術大会2019 in 鹿児島黎明学会」において、辛嶋副主任、松田理学療法士、井原理学療法士、松尾理学療法士と私の計5名が発表しました。

今回の学会のテーマは、『理学療法士の技術と叡智』でし考書の購入などを通して、記録に対する意識を高めることができました。

結果、記録に対しての知識の習得と共に、スタッフに声を出していったことが、記録の質向上に繋がったと学会を通して改めて感じる事が出来ました。記録には正解がありません。誰もが見て分かる記録を今後も目指し、記録委員としての活動に邁進していきたいと思えます。

た。「叡智」とは、「物事を深く見通す優れた知恵」とあります。物事の本質を見通して考えることができる、優れた知恵という事なのです。学会においては、先人達が培ってきた経験と知見、技術の積み重ねを土台に様々な発表があり、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、今回発表をさせていただいたことで、自分では気付くことができなかった様々な意見がいただき、新たな視点での気づきや今後の課題を見つけ

最後になりましたが、今回発表するにあたって、辛嶋副



主任をはじめ、多くの方々にお力添えをいただき無事発表を終えることができました。今後も努力を怠らず、感謝の気持ちを忘れずに謙虚な姿勢で精進してまいります。





# 大分県病院学会での発表を振り返って

4階病棟 看護師 野島 里香

2019年11月17日、別府市ビーコンプラザで行われた大分県病院学会にて、『重症度、医療・看護必要度の評価、監査体制の再構築』OJT主体の教育体制への変換」と題し、口述発表をさせて頂きました。

重症度、医療・看護必要度とは、名前の通り患者さんに必要とされている看護の量を評価するものです。これは、毎日正しく評価しなくてはならないと国から定められているものです。当院では2011年に看護必要度委員会を発足し、適正な評価・監査体制の構築と教育活動を展開してきました。私も委員会メンバーの一人として活動を行ってきました。

今年度、評価・監査体制を見直し、業務の効率化並びに教育体制の強化に取り組んだ活動内容を振り返り発表しました。抄録の文章作成、発表のプレゼン作成と慣れないことを行い、悩みながらも藤原副看護部長をはじめとする上司、先輩方からのアドバイスを頂き準備を進めることができました。当日は緊張しましたが、私なりに無事に発表することができましたと思います。

今回このような機会を頂いたことで、今まで自分が活動してきた内容を振り返ることができ、達成感に繋がったと思います。



## 第30回 全国老健大会 (別府大分) 記念大会に参加して

介護老人保健施設 なのみ 介護福祉士 長谷川 進作



2019年11月20日～22日の3日間、別府・大分市で全国老健大会が開催されました。全国大会ということもあり、5,000名程が集まった大きな学会の場でした。当施設から3題の口演およびポスター発表をし、私は『当施設におけるケアの質向上と排泄支援加算取得への取り組み』と題しての、口演発表でした。排泄委員会を中心になのみスタッフ一丸となつて日頃より質向上に取り組み、今回、排泄支援加算100%獲得に繋がった結果を発表させて頂き、また、他施設の発表からも様々な取り組みを知ることが出来ました。



閉会式には和太鼓集団TAOによるすばらしい演奏等もあり、活気ある大変有意義な学会に参加でき、感謝するばかりでした。今大会で得た知識をケアの質向上として利用者様に還元できるよう今後も日々研鑽して参ります。





# ハワイ研修

医療事務部 副主任  
中山 緑



2019年10月28日

11月2日、佐藤ナース、  
上田ナース、村上ナース、  
中山の4人でハワイ研修  
へ参加させて頂きました。

ハワイ到着後、ホノル  
ル市内観光へ出発、観る  
ものすべてが新鮮でした。  
夜は全日本病院協会主



催の懇親会があり、波  
の音を聞きながらフラ  
ダンスを楽しみ、他の  
病院との交流を行いま  
した。

2日目はハワイ研修  
本題のセミナーや施設  
見学に参加させて頂き  
ました。午前中は現地  
日本人ドクターや看護  
師からハワイでの医療  
情勢の現状など貴重な  
講義があり、午後から  
は病院見学でした。病  
院施設内はハロウィン  
一色で、かわいい飾り付けや  
お菓子を提供していたりと  
ほっとする空間でした。



3日目はショッピング  
や潜水艦で海中散歩、4  
日目はハロウィンパレ  
ードにも参加し楽しい時間  
を過ごしました。

ハワイでの研修は興味  
深く、心身ともに充実し  
た貴重な経験をさせて頂  
いたと思っています。素  
晴らしい思い出がありが  
らうございました。

友の会新規会員募集中!

## 第37回 玄真堂友の会開催のお知らせ

- 開催日 2020年3月21日(土) 14:00~16:00
- 場 所 川島整形外科病院1F 玄真堂ホール



テーマ 「お口キレイ!! おなかキレイ!!  
動いて笑って元気になろう!!」

お口とおなか(腸)の状態が健康に深く関わっていることにつ  
いて聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか?

今回の玄真堂友の会では、口腔ケアを始め、「食」の大切さを  
知り、健康で笑って元気に過ごせることを目指し、楽しく学べる  
会にしたいと思っております。是非皆様のお越しをお待ちしてお  
ります。

友の会会員以外の方も  
参加無料です。

ケーナやコーラスによる  
オープニングや健康クイズ  
等、盛り沢山の内容となっ  
ております。

最新医療・健康情報を共に  
楽しく学びましょう。



# 功労賞頂きました！

クリニックリハビリテーション部 理学療法士 松田 健志

去る12月21日、玄真堂の忘年会で功労賞を頂きました。20

19年は、九州理学療法学会大会で発表をして、優秀演題賞を受賞しました。また、アジア・太平洋高気圧環境医学会のスタッフに選ばれ、自分にとって貴重な経験ができた1年でした。そして、1年の締めくくり

にこのような栄誉ある賞を頂き、驚きと興奮を感じています。学会で賞を頂いたのは望外のことでしたが、ここ数年、研究テーマにしてきた変形性膝関節症に関して、準備から発表に至るまで法人内外の方々から様々な意見を頂き、考察を深め、理

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。

その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

また、入職以来約15年、Kawashima English conversation clubに所属し、週2回の英会話のレッスンを続け、その関係で昨年のアジア・太平洋高気圧環境医学会で司会の手伝いをさせて頂きました。人前で英語での話をするのはとても緊張しましたが、他のメンバーに支えられ、乗り切ることができました。



その他、日々の業務などお褒めの言葉を頂きましたが、チャンスとサポートしてくれた上司、同僚、家族の力があつてこそだと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々精進して良い仕事ができるように努めていきたいと思

入院支援の目的は、患者さんが安心して安全に入院生活を送るための支援を行うことです。特に当院は整形外科の急性期病院として、病気や骨折などで突然日常生活が困難になり、入院を余儀なくされ、今後の生活や経済的な面で多くの不安を抱えている方がたくさんおられます。短い入院日数のため入院前から多職種と連携し、迅速、正確に情報を把握し共有していただきます。また、入院前から支援を行うことで其々の立場での入院のイメージが付き、少しでも安心して入院生活や手術に臨んでいただき、退院後も住みなれた場所でもとの生活が送れるようにサポート

地域医療福祉連携室 尾園 幸子  
看護師

当院での入院支援についてご紹介いたします。まず外来で入院日時が決定後、検査等を行います。次に相談室で①既往歴、現病歴、主訴、アレルギーの有無、家族情報、連絡先等の基礎情報収集

②入院日時の確認、手術説明や必要物品説明③当院分、他科分の内服薬確認(中止薬確認)④入院経過治療などについてスケジュールの説明⑤入院前の状況確認の為ケアマネジャーや介護系や他機関との連絡、情報提供依頼等を行います。患者さんから「入院や手術に向けて心の準備ができた」、「連携が取れている」等のお声をかけて頂けるようになりました。

## 入院支援はじめています

今後、患者さん、ご家族が安心して入院生活ができるようサポートしてまいります。



受診時はお薬手帳のご持参をお忘れなく



今後、患者さん、ご家族が安心して入院生活ができるようサポートしてまいります。



## 院外発表・講演

- 2019.10.20  
第1回Agent support seminar (福岡県)  
「股関節の理学療法を展開するには！」～臨床で股関節をみる基本～  
リハビリテーション部奥村科長講演
- 2019.10.25  
第127回大分県病院薬剤師会 県南地区研修会 (大分市)  
「大分県北部・豊前地区における大腿骨頸部骨折後の治療連携について」  
永芳副院長講義
- 2019.10.25～10.26  
第4回アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会 (中津市)  
「Asymptomatic Dysbaric Osteonecrosis in Japanese Divers」  
川島院長発表  
「Hyperbaric Oxygen Therapy For Orthopaedic Infection」  
川島理事長講演
- 2019.10.25～10.26  
第16回肩の運動機能研究会 (長野県)  
「3DCT画像による結帯肢位での関節窩と上腕骨小結節の観察」  
リハビリテーション部辛嶋副主任発表
- 2019.11.1  
第17回「ようこそ先輩」ふれあい授業 (中津市)  
「前野良沢と福沢諭吉」  
川島理事長講演
- 2019.11.16～11.17  
臨床実習指導者講習会 (大分市)  
「臨床実習の到達目標と修了基準」  
井原理学療法士講演
- 2019.11.17  
第37回大分県病院学会 (別府市)  
「橈骨遠位端骨折患者に対するOLSと今後の課題」  
石井作業療法士発表  
「橈骨遠位端骨折後、FPL断裂を呈した一症例」  
川端作業療法士発表  
「骨髄炎による長期離床患者に対する理学療法の一考察～自己効力感の改善に着目して～」  
植田理学療法士発表  
「転倒歴を有する高齢者の身体的、心理的特性」  
合津理学療法士発表  
「当院における急性減圧症に対する再圧療法の状況」  
高気圧治療科山口統括科長発表  
「当院で使用している膝ストレス撮影台について」  
放射線科清水主任発表
- 2019.11.28  
第15回大分県股関節研究会 (大分市)  
「大分県北部における大腿骨近位部骨折の動向 (豊前・豊後地域連携パスとこれから)」  
永芳副院長発表
- 2019.11.29  
大分県東 医科歯科連携カンファレンス (大分市)  
「骨粗鬆症治療の重要性」  
川島院長講演

- 2019.9.5  
平成31年度高齢者講座「きらめき大学」教養講座 (福岡県)  
「前野良沢と一節截」  
川島理事長講演
- 2019.9.6～9.8  
第53回日本作業療法士学会 (福岡県)  
「基節骨骨折に対するロッキングプレート固定術後の可動域制限についての検討」  
リハビリテーション部岸本副主任発表
- 2019.9.11  
大分大学医学部講義 (大分市)  
「整形外科の歴史」  
川島理事長講義  
第7回鹿児島大学医歯学総合教育セミナー (鹿児島県)  
「高気圧酸素治療と骨関節感染症の治療について」  
クリニック田村所長講演
- 2019.9.25  
元気ハツラツ教室 (中津市)  
「運動障害と予防」  
リハビリテーション部奥村科長講演
- 2019.9.29  
第2回新人教育プログラム講座 (津久見市)  
「統計方法論」  
井原理学療法士講演
- 2019.10.5  
第7回日本運動器理学療法学会学術大会 (岡山県)  
「変形性股関節症患者の立脚期の股関節角度に対する全身の協調性～1症例に関する検討～」  
井原理学療法士発表
- 2019.10.11～10.13  
第21回日本骨粗鬆症学会 (兵庫県)  
「当院における骨粗鬆症性椎体骨折患者の入院治療の経過と骨折椎体の楔状率の変化」  
リハビリテーション部宮本副主任発表  
「当院における50歳以上女性の橈骨遠位端骨折後の二次骨折予防に関する調査」  
石井作業療法士発表
- 2019.10.12～10.13  
九州理学療法士学術大会2019 (鹿児島県)  
「非特異的腰痛の伸展時痛における改善群と持続群での身体機能の比較」  
松尾理学療法士発表  
「内側コンパートメントの有症膝における側方動揺性の検討」  
リハビリテーション部辛嶋副主任発表  
「変形性股関節症患者の歩行時痛と時間幅を持った運動学的変数との関連性の検討」  
井原理学療法士発表  
「膝蓋大腿関節の変形と臨床症状の関連性について」  
松田理学療法士発表  
「広範囲腱板断裂の自動挙上制限因子の検討」  
尾道理学療法士発表



「肘部管症候群の診断・検査・治療」  
リハビリテーション部杉木部長代理

### 川島肩をカタろう会

- 2019.9.26  
「髓内釘による上腕骨近位端骨折12例の治療経験」  
リハビリテーション部岸本副主任
- 2019.10.1  
「透析患者の肩関節障害」  
羽田野理学療法士

### 膝関節勉強会

- 2019.9.11  
「大腿骨遠位部骨折」  
牟田口理学療法士
- 2019.10.9  
「ACL損傷のガイドラインについて」  
宮本リハビリテーション部副主任
- 2019.11.13  
「膝OAの進行因子～姿勢・歩行解析を中心に～  
+Early,Pre OAについて」  
井原拓哉理学療法士

### 看護部勉強会

- 2019.9.2  
褥瘡発生診療計画書の作成の仕方の再周知
- 2019.11.11  
記録の勉強会

## 院内勉強会

### モーニングセミナー

- 2019.9.20  
「深部静脈血栓症」  
渡邊副医長
- 2019.10.18  
「尺側部痛」  
後藤副医長
- 2019.11.15  
「心筋梗塞とその周辺の話」  
原西麻酔科部長

### カワシマハンドセラピー研究会

- 2019.9.9  
「小指PIP関節内骨折を呈した一症例」  
大嶋作業療法士
- 「手根管症候群の診断・検査・治療」  
石井作業療法士
- 2019.10.21  
「頸椎椎間板症で手指尺側部のしびれを呈した症例」  
リハビリテーション部辛嶋副主任
- 「手根管症候群（保存・ECTR後）のリハビリ」  
リハビリテーション部岸本副主任
- 2019.11.18  
「関節リウマチにより右小指伸筋腱断裂を起こした一症例」  
安田作業療法士

## 医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

- 2019.9.3  
手根管症候群の夜間痛について  
古江第二診療部長
- 2019.9.10  
インプラント周囲感染に対する1期的TKA再置換術  
後の成績不良におけるリスクファクター  
川島院長
- 2019.9.24  
TKAやTHAにおいて閉創前のイソジン含有生食での  
洗浄は有効か？  
渡邊副医長
- 2019.10.1  
肩上方腱板修復術後の術後授動について、スリング  
（肩装具）あり対スリングなし  
ランダム化された前向き研究  
佐々木医局長

- 2019.10.8  
橈骨遠位端骨折の掌側ロッキングプレートのデザイ  
ンが長母指屈筋腱に与える影響  
後藤副医長
- 2019.10.29  
5年間の患者報告転帰および臨床転帰によるACL再  
建での膝蓋腱、ハムストリング腱、2重束ハムスト  
リング腱のランダム化臨床試験  
藤池医師
- 2019.11.5  
ACL損傷早期のCoper分類は、神経運動器協調訓練と  
筋力訓練を行うことにより改善し、2年後の成功率に  
関連している Delaware-OsloACLコーホート研究  
本山第一診療部長
- 2019.11.12  
リスフラン関節脱臼骨折の治療  
古江第二診療部長

## 論文（共同含）・誌上发表

- 川島真人：特別講演 化膿性関節炎・骨髄炎に対する局所持続洗浄療法の温故創新。大分県整形外科医会誌。(38)：14, 2019.
- 川島真人：解体新書と杉田玄白 平成30年7月28日講演。会報 第55号 三毛の文化。：6-10, 2019.
- 吉見洋平, ほか：腎移植術後にニューキノロン系抗菌薬使用によって生じたアキレス腱断裂の1例。整形・災害外科 10月。62(11)：1427～1429, 2019.

## かわしまさんの介護のすゝめ

川島整形外科病院 地域医療福祉連携室 井上 由貴

当法人には、外来診察や入院・手術などの医療サービスを提供する部門とは別に、介護保険サービスを提供する介護部門もあります。

介護部門では、主に生活を送る上での問題点に対して、介護保険で利用できるサービスを活用し、利用者が住み慣れた地域の中で、自立した生活を送れるよう支援を行っています。

介護部門では、看護師や介護士、リハビリ以外にも、ケアマネジャーやソーシャルワーカーなどのスタッフが活動しています。介護保険サービスを利用していない方には、実際にどんなことをしているのか伝わりにくいことも多いと思います。

そこで、私達がしていることや、日々感じている思いを少しでもお伝えできればと『かわしまさんの介護のすゝめ』と題したブログを開設しています。川島整形外科病院のホームページ内からもブログのページを開くことができますので、興味を持たれた方は、ぜひ一度見ていただくと幸いです。

### 【かわしまさんの介護のすゝめ】

川島整形外科病院 在宅事業部 電子広報係

私たちが在宅事業部の職員で更新している『かわしまさんの介護のすゝめ』というブログをご存じでしょうか？

日々の仕事内容や、仕事に対する思い、葛藤、または職員のちよつとしたプライベートや介護に関する豆知識など多岐にわたって内容が更新されています。

看護師、リハビリ職、介護職、ケアマネジャーやソーシャルワーカーなど様々な職員が、利用者様を自宅に安全に、より幸せに生活できるように全力でサポートしています。その様子が少しでも伝われば幸いです。

一人ひとり職員の熱い思いが込められたブログです。是非、一度ご覧ください。



スタッフのほのぼののブログ 毎週更新中です

かわしま 介護 ブログ



## 編集後記

あけましておめでとございます。寒さが日に日に厳しくなり、春の到来を待ち遠しく思う今日この頃です。さて、ラ・サンテ新春号が出来あがりました。本年も皆様のお役にたてる情報提供紙を心がけ、委員一同取り組んでまいります。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(R・H)

### 【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

#### [患者様の権利]

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

#### [患者様の責務]

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い